

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	令和3年7月7日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 静岡県富士市今泉700番地の1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） ジヤトコ株式会社 取締役社長 中塚 晃章

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001
適 用 範 囲	本社（A地区、B地区、C地区）、富士地区（第1地区、第2地区、第3地区、第4地区）蒲原地区、富士宮地区、掛川地区、京都地区、八木地区
導 入 年 月 日	平成10年 6月 30日
認 証 番 号	497860 UM15
基 本 方 針	環境とクルマが共生できる社会の実現 テクノロジー：エネルギー伝達効率の高いトランスミッション開発 汚染予防：環境問題の未然防止及び法令の遵守 資源有効活用：資源、エネルギー使用の最小化 継続的改善：環境マネジメントシステムの有効性向上
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	毎年度初めに全社環境EMPが制定され、それに基づき各地区毎に地区環境EMPを制定する。削減目標については下記の通りです。 令和3年度 全社ではCO2削減目標は換算台数当たりのエネルギー量前年度比2%減 廃棄物削減目標は前年度比2.2%減
目標を達成するための取組の内容	月々の削減目標値の関値グラフが見える化し、毎月のEMPフォロー会議で認識・共有する。 又、未達すれば是正処置を行い挽回する仕組みを取組んでいる。
目標を達成するための取組の進捗状況	毎月のEMPフォロー会議で進捗フォローを行う。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	毎月のEMPフォロー会議にてサイト責任者へ進捗状況の報告を行ない、更に上期末と年度末に振り返りを実施する事で当初計画通りに進捗したかの成果評価を行います。
事業活動に係る法令の遵守の状況	毎月のEMPフォロー会議にて法令規制遵守状況を確認している。これまでに違反及び行政当局からの指導はない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	社内評価として年度初と年度末には全社の環境統括委員会が開催される。内部監査システムがあり毎年実施。社外評価としてUL DQSにて監査を受けシステム評価及び継続的な改善に取り組んでいる。前年度において目標及び取組内容により一定の成果が見られたことから、今年度も同一のシステムにより運用している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。